

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 前立腺癌診断マーカーS2,3PSA%の試薬評価と臨床的有用性に関する検討

研究の目的

前立腺癌マーカーとして前立腺癌特異抗原（PSA）が一般的に使用されていますが、特異性が低く、偽陽性が多いことが課題となっています。今回、院内検査として導入された S2,3PSA%は前立腺癌の二次スクリーニングとして実施することにより偽陽性者を絞り込むことができる検査として期待されています。この研究では S2,3PSA%検査の試薬の安定性、検体の種類等の評価を実施するとともに PSA や前立腺癌との関連性を調べて有効活用できる方法を明らかにします。

研究実施期間： 2023年 5月 24日 ～ 2025年 3月 31日

対象となる方： 2023年5月1日～2024年12月28日までの間、附属病院泌尿器科を受診し、前立腺癌特異抗原（PSA）、あるいは S2,3PSA%検査を実施した方

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院のカルテに記録されている情報のうち、既往歴、臨床症状、検査結果、診断名、年齢、画像情報に基づく病期等の情報について、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、残余検体を使用して試薬の安定性や共存物質の影響、PSA との相関性などの基礎的評価を行い、その後は検体の種類（血清・血漿）による影響があるかどうか、S2,3PSA%の検査結果を解析していくことで前立腺癌との関係性について明らかにしていきたいと思っております。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院 検査部 生化学検査室 藤田 絵理子（ふじた えりこ） 電話：0172-33-5111（内線 7205） メール：fujita-kensabu@hirosaki-u.ac.jp 藤田が不在の際は生化学検査室担当者が承りますのでお伝えください。
--------------	--